

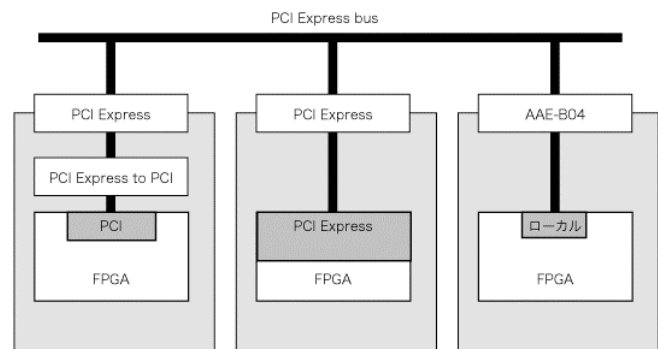
PCI Express バスブリッジ「AAE-B04」の販売を決定

株式会社アバールデータ（以下アバール。代表：嶋村 清、本社：東京都町田市旭町 1-25-10、URL：
http://www.avaldata.co.jp、営業部/TEL：042-732-1030 FAX：042-732-1032、E-Mail: mailto:sales@avaldata.co.jp）
は、自社製品に搭載している**独自開発の PCI Express バスブリッジ LSI「AAE-B04」**の販売を決定し**2007年11月6日より受注開始する。**

AAE-B04 は、大容量・高速の画像処理や膨大な情報の効率的な伝達が求められる組込み分野でも主流となっていく「PCI Express バス」製品の開発時の負担を削減するために、アバールが独自に開発したバスブリッジ LSI。「PCI Express バス」の基本機能に加え、メモリコントローラ、ローカルバスコントローラ、FPGA のコンフィギュレーション・ポート、シリアル I/F など組込み製品に要求される機能を集積している。FPGA のコンパニオン LSI といえる製品となる。

通常 PCI Express バスを採用したボード製品を開発するには、右図の 1 や 2 の様な形になるが、部品点数の増加や大規模な FPGA を必要として、コストを抑えることが難しい。また、バス自身の性能を最大限に活用することができない。何よりも、その開発には PCI Express や FPGA を熟知した技術者が必要になり、本来開発すべき製品の機能部分の開発に専念できないことになる。今回販売する AAE-B04 を使用することで、ユーザーは、ボード上の部品点数の削減や安価な FPGA を採用できたり、PCI Express バス部分の設計も直接行うことなく目的の機能部分の開発に専念でき開発期間の短縮も可能になる。「AAE-B04」を使用するメリットそれだけではなく、PCI Express バスの性能を最大限で活用できる工夫がなされている。

サンプル出荷は 11 月中旬を予定。量産品の出荷は 2008 年 3 月下旬。



1：内部は従来の PCI バスを使って「PCI Express to PCI」で PCI Express バスに接続する場合。内部が PCI のままなので、PCI Express バスの能力を最大限に発揮できない。大容量のデータを扱う製品には向かない。

2：FPGA を使って PCI Express バスブリッジを開発した場合。FPGA の多くの部分を PCI Express バスブリッジで使うことになり本来の機能を作り込むことが難しい。大規模な FPGA は非常に高価な製品となっている。

2：AAE-B04 を使用した場合。ユーザーは PCI Express バスの部分の設計をすることなく、AAE-B04 と FPGA をつなぐローカル部分の設計だけ済む。FPGA で本来の機能設計に専念でき、FPGA も最大限に使用できる。

型名 : AAE-B04

サンプル価格：¥20,000（消費税別）（量産価格は未定）